

## Ⅷ 種類別明細書（減少資産用）の書き方（記入例）

同封の申告状況書の「資産コード」欄に印字している資産コードを必ず記入してください。

同封の申告状況書の取得年月を記入してください。

減少した資産の取得価額を記入してください。  
なお、資産の一部が減少した場合は、減少した部分に対応する取得価額を記入してください。

同封の申告状況書の耐用年数を記入してください。

記入する必要はありません。

当該資産が減少した事由の番号を○で囲んでください。

この明細書の総ページ数と、そのうち何枚目であることを記載してください。

令和 6 年度

カードNo.		処理No.		※ 所有者コード												所有者名		1枚のうち
1	3	5	7	記入不要												福岡株式会社	1枚目	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額				耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分		摘要		
					年号	年	月	十億	百万	千	円			1売却 3移動	2減失 4その他		1全部 2一部	
01	6	40900102	パソコン	1	4	2	0	8	3	5	0	0	0	0	4	1・2・3・4	1・2	平成31年4月廃棄（申告もれ）
02	6	40900104	冷蔵庫	1	4	1	8	0	2	3	2	1	0	0	6	1・2・3・4	1・2	博多区へ移動
03	6	40900105	パソコン	1	4	2	2	0	4	2	0	0	0	0	4	1・2・3・4	1・2	当初取得価額60万円のうち20万円（1台）減少
04																1・2・3・4	1・2	
05																1・2・3・4	1・2	
06																1・2・3・4	1・2	
07																1・2・3・4	1・2	
08																1・2・3・4	1・2	
09																1・2・3・4	1・2	
10																1・2・3・4	1・2	
11																1・2・3・4	1・2	
12																1・2・3・4	1・2	
13																1・2・3・4	1・2	
14																1・2・3・4	1・2	
15																1・2・3・4	1・2	
16																1・2・3・4	1・2	
17																1・2・3・4	1・2	
18																1・2・3・4	1・2	
19																1・2・3・4	1・2	
20																1・2・3・4	1・2	
				小計														871000

- 資産の種類は下記のとおり記入してください。
- 構 築 物 . . . 1
  - 機 械 及 び 装 置 . . . 2
  - 船 舶 . . . 3
  - 航 空 機 . . . 4
  - 車 両 及 び 運 搬 具 . . . 5
  - 工 具 、 器 具 及 び 備 品 . . . 6

- 次のような事項を記入してください。
- ・申告もれの場合、廃棄や売却した実際の年月
  - ・減少の区分が「2一部」に該当する場合は「当初取得価額60万円のうち20万円減少」のように取得価額および減少した額
  - ・その他該当資産が減少したことについて必要な事項

※文字、数字は枠の中に正確に記入してください。  
※事業所の廃止等で、申告済の資産の全部を抹消する場合は、償却資産申告書の取得価額(二)を0とし、「18 備考」欄にその旨等記入してください。  
その場合、この明細書は必要ありません。

注意「取得年月の年号」の欄は、大正は2、昭和は3、平成は4、令和は5を記入してください。